



平成31年1月30日

各 位

上場会社名 株式会社 ツツミ
代表者 代表取締役社長 互 智司
(コード番号 7937)
問合せ先責任者 経営管理室長 吉川 哲也
(TEL 048-432-5510)

減損損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成31年1月30日開催の取締役会において、平成31年3月期第3四半期(平成30年10月1日～平成30年12月31日)で、固定資産の減損損失を計上する決議をいたしましたので、平成30年10月30日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,900	1,000	1,080	930	53.04
今回修正予想(B)	16,900	730	800	310	17.75
増減額(B-A)	—	△270	△280	△620	
増減率(%)	—	△27.0	△25.9	△66.7	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	17,566	968	1,062	599	34.08

修正の理由

1. 減損損失の計上について

平成31年3月期第3四半期(平成30年10月1日～平成30年12月31日)において、当社が保有する一部の固定資産について、収益性の低下が見られたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、517百万円を特別損失として計上する見込みであります。

2. 業績修正内容について

売上高につきましては、ほぼ計画通りで推移する見込みであります。利益面につきましては、原材料相場の影響等により、売上総利益率が計画を下回る見込みとなります。それにより、営業利益、経常利益が前回公表の予想に対して下回る見通しとなりました。また、当期純利益につきましては、一部の路面店で客数減少による売上高の減少に伴い、特別損失として上記の減損損失の計上が見込まれることにより、前回予想を下回る見込みであります。

以 上